

2 性に関する指導の目標

性に関する指導の目標は、児童生徒を取り巻く環境が変わっても変わるものではありません。

学校教育は、子供の人格の完成、豊かな人間形成を目的とし、生命尊重、人間尊重、男女平等の精神など基本的人権の尊重に基づいて行われるものであり、性に関する指導もまた、その目的の実現に資するべきものです。そのため、人格の形成と密接不可分な関係にあり、人としての性を人格の基本的な部分としてとらえ、豊かな人間形成を目的として行われ、「生理的側面」「心理的側面」「社会的側面」などから総合的にとらえることが重要です。こうした考え方は、子供たちを取り巻く環境が変わっても、変わるものではありません。

従って、学校における性に関する指導は、単に性に関する科学的知識を与えることだけでなく、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性観をもち、適切な意思決定や行動の選択もできるよう実施されるものです。そして、人間の性を「生理的側面」「心理的側面」「社会的側面」からとらえると、性に関する指導の目標を次のように示すことができます。

【学校における性に関する指導の目標】

児童生徒の人格の完成と豊かな人間形成を究極の目的とし、科学的知識を与えるとともに、生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づき、自ら考え、判断し、意思決定の能力を身に付け、望ましい行動をとれるようにする。

① 発達の段階を踏まえ、心身の発育・発達、性感染症等「性」に対して正しく理解できるようにする。

② 人間尊重、男女平等の精神に基づく豊かな人間関係を築くことができるようにする。

③ 家庭や様々な社会集団の一員として直面する「性」の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てる。

① 発達の段階を踏まえ、心身の発育・発達等「性」に対して正しく理解できるようにする。

人間は男か女かという事実（生物学的な性）や、男になることや女になることなど（心理的、社会的な性）をどう理解し認識しているかによって生き方に差異が生じます。このことから、人間の生物学的「性」や心理的・社会的「性」について理解を深めさせ、自己の性に対する認識に自信をもつよう支援することを大切にします。

② 人間尊重、男女平等の精神に基づく豊かな人間関係を築くことができるようにする。

人間は生涯を通じて、様々な人間関係を築きながら生きていきますが、その際人間として平等の立場で、お互いに理解し合い、人格を尊重し合いながら協力していくことが必要です。従って、小学校低学年から発達の段階に応じて、人間尊重、男女平等の精神の醸成を図り、児童生徒が豊かな人間関係を築くことができるようにすることを大切にします。

③ 家庭や様々な社会集団の一員として直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てる。

人間は、性に関する様々な思想や文化、風俗、習慣、法律、制度などの中で、家族の一員として、あるいは職場や地域における様々な社会集団の一員として生きています。そのため、児童生徒が現在及び将来の生活において、これらの場で直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てることを大切にします。